

## 6. 後期高齢者医療特別会計

### (1) 収支の概要について

本年度の予算現額は1,355,933千円であり、前年度の予算現額と比較すると132,172千円（8.9%）減少している。

また、決算額は歳入で1,374,965千円（増減率7.2%）、歳出で1,338,320千円（増減率9.8%）で差し引き36,645千円の黒字となっており、本年度実質収支額から前年度実質収支額64,203千円を差し引いた単年度収支額は27,558千円の赤字となっている。

### 決算状況比較表

（単位：千円）

区 分 \ 年 度	元	30	増 減 額	増 減 率（%）
予 算 現 額	1,355,933	1,488,105	-132,172	-8.9
歳 入 決 算 額	1,374,965	1,282,621	92,344	7.2
歳 出 決 算 額	1,338,320	1,218,418	119,902	9.8
歳 入 歳 出 差 引 額	36,645	64,203	-27,558	-42.9
翌年度へ繰り越すべき財源	0	0	0	-
実 質 収 支 額	36,645	64,203	-27,558	-42.9
単 年 度 収 支 額	-27,558	23,144	-50,702	-219.1

(2) 歳入の概要について

決算額の予算現額に対する比率は101.4%で、前年度の86.2%より15.2%上昇している。

また、調定額に対する比率は99.7%で前年度と同率となっている。

決算額の主な内訳は、後期高齢者医療保険料1,122,779千円（構成比81.7%）、繰入金187,682千円（13.6%）、繰越金64,203千円（4.7%）などとなっている。

歳入状況一覧表

科目	区分	予算現額		調定額		
		金額	構成比	金額	構成比	予算現額に対する比
			%		%	%
後期高齢者医療保険料		1,160,176	85.6	1,126,738	81.7	97.1
使用料及び手数料		76	0.0	97	0.0	127.6
繰入金		192,877	14.2	187,682	13.6	97.3
諸収入		104	0.0	204	0.0	196.2
繰越金		2,700	0.2	64,203	4.7	2,377.9
合計		1,355,933	100.0	1,378,924	100.0	101.7

更に決算額を分析すると、歳入決算額1,374,965千円は前年度より92,344千円(7.2%)増加している。

その内容は、後期高齢者医療保険料で66,665千円(6.3%)、繰入金で2,504千円(1.4%)、諸収入で36千円(21.4%)、繰越金で23,144千円(56.4%)それぞれ増加し、使用料及び手数料で5千円(4.9%)減少している。

(単位:千円)

収 入 済 額				不 納 欠 損 額		収 入 未 済 額	
金 額	構 成 比	予 算 現 額 に対する比	調 定 額 に 対する比率	金 額	調 定 額 に 対する比率	金 額	調 定 額 に 対する比率
	%	%	%		%		%
1,122,779	81.7	96.8	99.7	86	0.0	3,873	0.3
97	0.0	127.6	100.0	0	0.0	0	0.0
187,682	13.6	97.3	100.0	0	0.0	0	0.0
204	0.0	196.2	100.0	0	0.0	0	0.0
64,203	4.7	2,377.9	100.0	0	0.0	0	0.0
1,374,965	100.0	101.4	99.7	86	0.0	3,873	0.3

(3) 歳出の概要について

決算額の予算現額に対する比率は98.7%で前年度の81.9%より16.8%上昇している。

また、不用額は17,613千円で前年度に比べて252,074千円減少しており、予算現額に対する比率は1.3%で前年度の18.1%より16.8%減少している。

決算額の内訳は、後期高齢者医療広域連合納付金1,318,244千円（構成比98.5%）、総務費19,387千円（1.4%）、諸支出金689千円（0.1%）となっている。

歳出状況一覧表

(単位:千円)

区分 科目	予算現額		支出済額			翌年度繰越額			不用額		
	金額	構成比	金額	構成比	予算現額に対する比率	金額	構成比	予算現額に対する比率	金額	構成比	予算現額に対する比率
		%		%	%		%	%		%	%
総務費	23,930	1.7	19,387	1.4	81.0	0	-	0.0	4,543	25.8	19.0
後期高齢者医療 広域連合納付金	1,328,302	98.0	1,318,244	98.5	99.2	0	-	0.0	10,058	57.1	0.8
諸支出金	2,700	0.2	689	0.1	25.5	0	-	0.0	2,011	11.4	74.5
公債費	1	0.0	0	0.0	0.0	0	-	0.0	1	0.0	100.0
予備費	1,000	0.1	0	0.0	0.0	0	-	0.0	1,000	5.7	100.0
合計	1,355,933	100.0	1,338,320	100.0	98.7	0	-	0.0	17,613	100.0	1.3

決算額を前年度と比較すると119,902千円（9.8%）増加している。

その内容は、後期高齢者医療広域連合納付金で151,764千円（13.0%）増加し、総務費で1,551千円（7.4%）、諸支出金で30,311千円（97.8%）それぞれ減少している。

### 科目別年度比較表

（単位：千円）

科目	元 年 度		30 年 度		増 減 額	増 減 率
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比		
		%		%		%
総 務 費	19,387	1.4	20,938	1.7	-1,551	-7.4
後 期 高 齢 者 医 療 広 域 連 合 納 付 金	1,318,244	98.5	1,166,480	95.7	151,764	13.0
諸 支 出 金	689	0.1	31,000	2.6	-30,311	-97.8
合 計	1,338,320	100.0	1,218,418	100.0	119,902	9.8

(4) むすび

本年度の決算は実質収支で 36,645 千円の黒字となっているが、単年度収支においては 27,558 千円の赤字となっている。

収入未済額は前年度より減少しているが、引き続き滞納債権回収の強化を図り、収入未済額の減少に努め、本会計の運営の安定化を図られるよう望むものである。